

第4学年実践事例 「くらしを高める願い」からの抜粋

単元名 くらしを高める願い

単元について

・自ら考え、学びを深め合う授業をめざして

本校の研究テーマ「自ら学ぶ子の育成」に向けては、問題解決的な学習の流れを大切にしてきた。例えば、春野が高知市の米どころであることを知り、「細かく流れる用水路に関係があるのではないか。」と予想した上で見学に臨ませる。見学後、印象に残ったことや気になることを話し合い、その中から新たにわかったことや、新しく疑問に思ったことを確認し合って、学習課題に組み込んでいきたい。その課題を深め合うために、ペア対話や班での話し合いの時間を確保する。新学習指導要領に示されている言語活動の充実に向けては、見学や調べ学習で習得した基礎知識を活用して、学習課題について考えを深め、探求させていくようにする。

前時までに、兼山の開発は土佐の国全体に及んだこと、新田開発のみに止まらず港湾の修築など多方面にわたること、またその過程で庶民に対する厳しい政策があったことなどを学習した。それらをふまえた上で、本時では兼山の行ったことに対して自分なりの評価をさせたい。

単元の目標

地域の人々の生活について、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について調べ、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えることができるようにする。

地域の開発によって地域の様子が変わり、人々の生活も向上してきたことを理解する。

学習指導計画・評価計画（全19時間、総合的な学習6時間）

内の数字...時間数 学習活動 関心・意欲・態度 思考・判断・表現
 < >内...評価方法 観察・資料活用 知識・理解 ・子どもの予想

	目 標	学習の流れ（学習活動と児童の反応）	評価規準・支援（ ）
課題をつかむ・予想する	航空写真を見て、春野に水田が多いことに気づき、用水路について調べようとする意欲を持つ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高知市でお米が多く取れるのはどこだろう。</div> 春野に水田が多いことに気づき、春野の土地利用に目を向けていく。 ・用水路はいつできたのか。誰が作ったのか。	春野の土地利用の様子に目を向け、用水路について調べようとする意欲を持つ。 <発表>
	目的をもって、見学に臨むことができるように準備をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見学の準備をしよう。</div> 今までの学習でわからないことを整理し、知りたいことや、見たい点を書く。疑問については、予想も書く。	見学の準備をすることができる。 <見学カード>

調べる・追究する	(総合)	安全に気を付け、メモをしながら、見学をする。 広さや大きさを体感する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見学をして、調べよう。</div> 見学コース 高知市春野町郷土資料館 弘岡井筋 新川の落とし 八田堰	メモをしながら、見学をすることができる。 <見学カード>
		個々の見学のまとめをし、今後の学習の課題を作っていく。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学習課題を作ろう。</div> 見学をして、わかったことや疑問に思ったことを発表し合う。 ・機械のない時代に大きな工事をして、用水路を作るのは大変なことだと思いました。 出された疑問を分類していき、課題作りをする。 ・堰や用水路はどうやって作ったのか。 ・働いた人の苦勞は。	友達の感想を聞き、かかわりを持ちながら課題づくりに参加することができる。 <発表・ノート>

指導の実際

【第1・2時】学習課題をつかむ

前单元「けんこうなくらし 水道」の中で、「水と米作りのかかわり」について触れたことを受けて、高知市内でお米がたくさん作られている地域を調べた。市内の航空写真から水田の多いところを見つけ、「高知市の米の生産量」のグラフを利用して、春野での米の生産量が多いことに気付くことができた。そこで春野へ見学に行き、その理由を調べてくることにした。

【第3時】予想を立て、調べる計画を立てる

「用水路ができる前」と「用水路ができた後」の資料（高知のくらし）を比較することで、前と後では水田の広がりや違うことに気付くことができた。このことから、用水路は米作りに大切な役割をしているのだろうと予想することで、見学の計画を立てた。

見学のときに、気を付けて聞いてくること

- ・用水路は誰がいつごろ造ったのかな。
- ・用水路を造るのにどんな苦勞があったのかな。
- ・お米の取れる量はどのくらい増えたのかな。
- ・水田が増えて人々の暮らしは変わったのかな。

【第4・5・6時】調べて確かめる（見学）

春野郷土資料館で学芸員の方の話を聞いた。ここで、多くの子どもは「野中兼山」という名前を初めて聞き、用水路が江戸時代の初頭にできたものだということを知った。その後、学芸員の方に解説してもらいながら、弘岡井筋、新川の落とし、行当の切り抜き、八田堰の順に見学した。

【第7時】見学したことをまとめる

見学してわかったことをワークシートにまとめたことで、用水路だけではなく堰が重要であることにも気付いた。まとめたことから、新たな疑問として、堰を作った方法などにも目を向け始めた。